

平成 20 年 10 月 22 日
しずおか信用金庫

平成 20 年度第 2 回お客様アンケート調査結果について

調査の概要

- (1) 調 査 時 期 : 平成 20 年 9 月 1 日 (月) ~ 9 月 8 日 (月)
- (2) 調査対象企業 : 当金庫取引先 520 社 (静岡県中部・東部地区中小企業)
- (3) 調 査 方 法 : 各店舗の営業担当者が代表者様等と直接面談
- (4) 回 答 状 況 : 520 社
- (5) 質 問 : 5 問
 - < 事業承継に関連する質問 > 3 問
 - < トピック : 環境に関連する質問 > 2 問

【業種別内訳】 (%)

建設業	33.5
製造業	33.8
その他	32.7

「その他内訳」 (%)

卸売業	20.0
小売業	25.3
運輸業	1.8
サービス業	22.9
その他	30.0

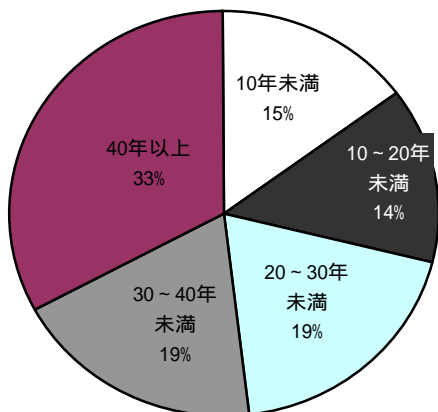
【資本金別内訳】 (%)

1,000 万円未満	38.4
1,000 ~ 3,000 万円未満	32.8
3,000 ~ 5,000 万円未満	6.2
5,000 万円未満	1.9
個人事業主	20.7

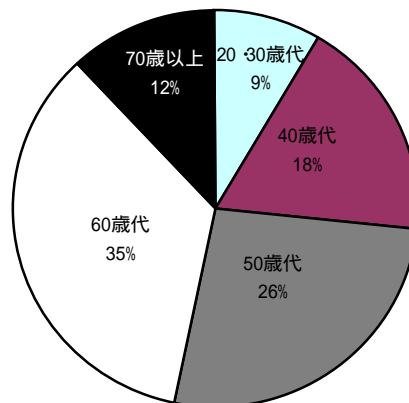
【従業員数内訳】 (%)

5 人未満	49.6
5 ~ 10 人未満	23.6
10 ~ 20 人未満	12.2
20 ~ 30 人未満	7.1
30 ~ 50 人未満	2.7
50 ~ 100 人未満	3.7
100 人以上	1.1

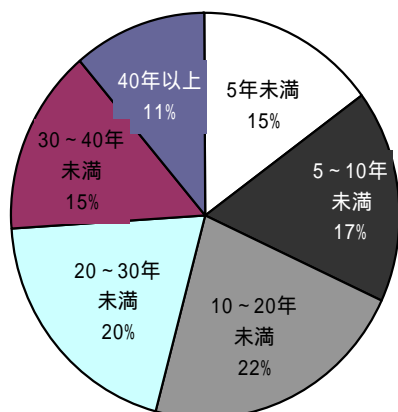
【貴社の業歴】



【代表者様の年齢】



【代表者の在任年数】

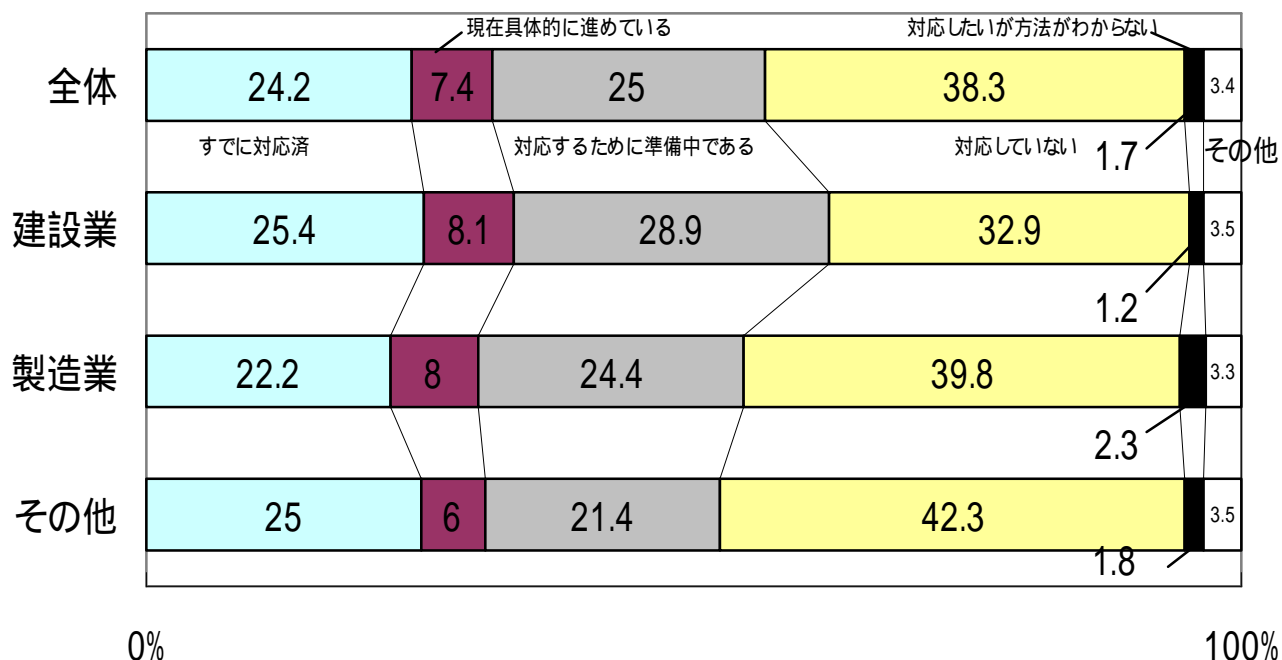


代表者様の年齢では60歳代と回答のあった企業の割合は35%で最も多く、70歳代以上と回答のあった企業の割合12%と合わせ、47%の企業の経営者の方が60歳代以上という結果になりました。企業業歴及び代表者の在任年数に関しても60歳代以上の企業ほど長く、企業における代表者の高齢化がうかがえます。

(60歳以上に占める業歴30年以上の割合：32%、同在任年数30年以上の割合：21%)

1. 事業承継における現状の対応状況について

【回答数 全体：517 内訳＜建設業：173 製造業：176 その他：168＞】

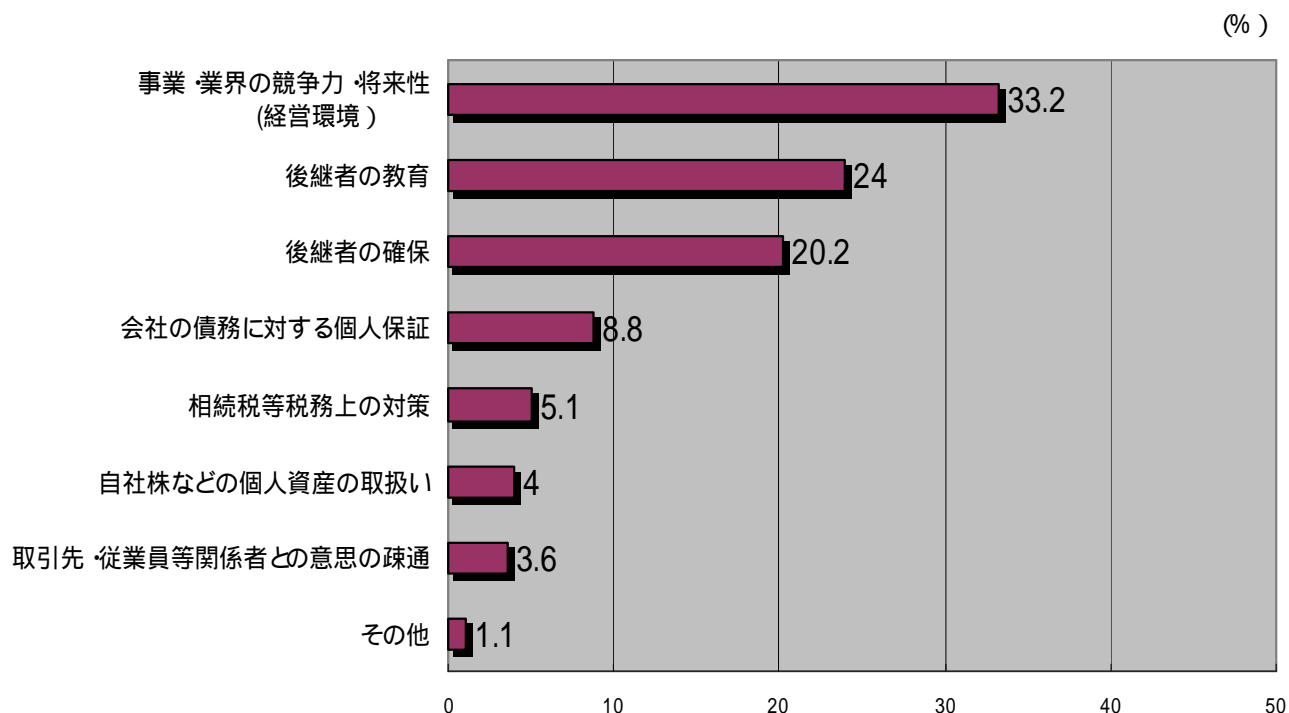


全体では「対応していない」(38.3%)と回答のあった企業が最も多く、次いで「対応するために準備中である」(25.0%)、「すでに対応済」(24.2%)、「現在具体的に進めている」(7.4%)、「その他」(3.4%)、「対応したいが方法がわからない」(1.7%)という結果でした。尚、「対応していない」の回答で代表者様の年齢が「50歳代以上」の割合は55.1%と半数近くを占めています。

業種別で見ると建設業では、「対応するために準備中」と回答のあった割合が28.9%、その他業種では「対応していない」との回答割合が42.3%と他の業種に比べ多いですが、全体的な傾向に大きな相違は見られません。全体で見ると「すでに対応済」、「現在具体的に進めている」、「対応するために準備中」を合わせると6割弱の企業が事業承継に対し意識をもった対応を行っているようですが、反面4割弱の企業が全く対応しておらず、事業承継に対する意識は二極化しているようです。尚、「その他」の回答の中で廃業を検討していると回答した企業が1%ありました。

2.具体的に事業承継を行う場合の問題点としてどのような事が考えられますか (複数回答)

【全業種・複数回答総数：758】



全業種で「事業・業界の競争力・将来性に不安(経営環境)」(33.2%)と回答のあった企業が最も多く、次いで「後継者の教育」(24.0%)、「後継者の確保」(20.2%)と続き、以下「会社の債務に対する個人保証」(8.8%)、「相続等税務上の取扱い」(5.1%)、「自社株などの個人資産の取扱い」(4.0%)、「取引先・従業員等関係者との意思の疎通」(3.6%)、「その他」(1.1%)となりました。業種別に見ても全業種結果と同様な傾向でした。

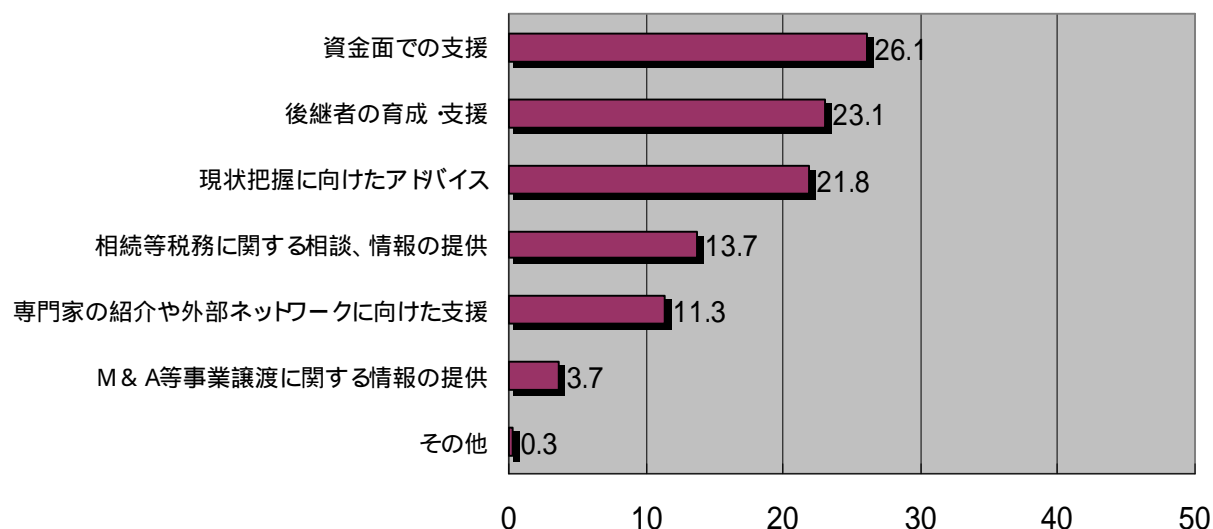
業種を問わず、「事業・業界の競争力・将来性に不安(経営環境)」、「後継者の教育」、「後継者の確保」に関する事項が問題点として回答している企業が多くありました。

3. 事業承継において金融機関に期待することはどのようなことですか

(複数回答)

【全業種・複数回答総数：679】

(%)



全業種では、「資金面での支援（後継者による自社株の買取や納税資金、退職金等）」（26.1%）と回答のあった企業が最も多く、次いで「後継者の育成・支援（セミナーや勉強会等の実施）」（23.1%）、「現状把握（自社株の評価方法等）に向けたアドバイス」（21.8%）と続き、以下「相続等税務に関する相談、情報の提供等」（13.7%）、「専門家の紹介や外部ネットワーク構築に向けた支援」（11.3%）、「M & A等事業譲渡に関する情報の提供等」（3.7%）、「その他」（0.3%）という結果でした。

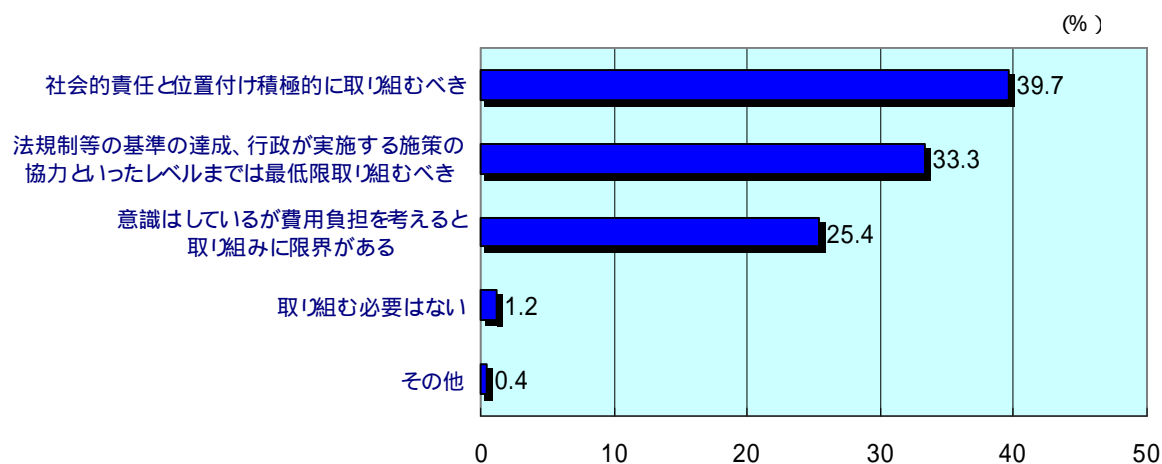
業種別に見ても全業種同様「資金面での支援」と回答のあった企業が最も多く、各業種とも順位の違いはあるものの、上位3位以内に占める項目は全業種と同様な結果でした。

全業種および業種別に見ても金融機関の本業である「資金面の支援」に期待する回答が一番多くありました。又、問2「具体的に事業承継を行う場合の問題点」の回答結果と同様に事業の存続に直結する事項「後継者の育成・支援」、「現状把握に向けたアドバイス」等が上位を占めました。

<トピック>

本年は、「洞爺湖サミット」が開催され、地球温暖化を主要テーマとした議論が行われました。個人レベルや企業レベルにおいても「環境問題」への関心が高まりつつあり、又、具体的な取組みも見受けられるようになってきました。そこで「環境問題」に関する事項を2つ取り上げ、アンケートを実施致しました。

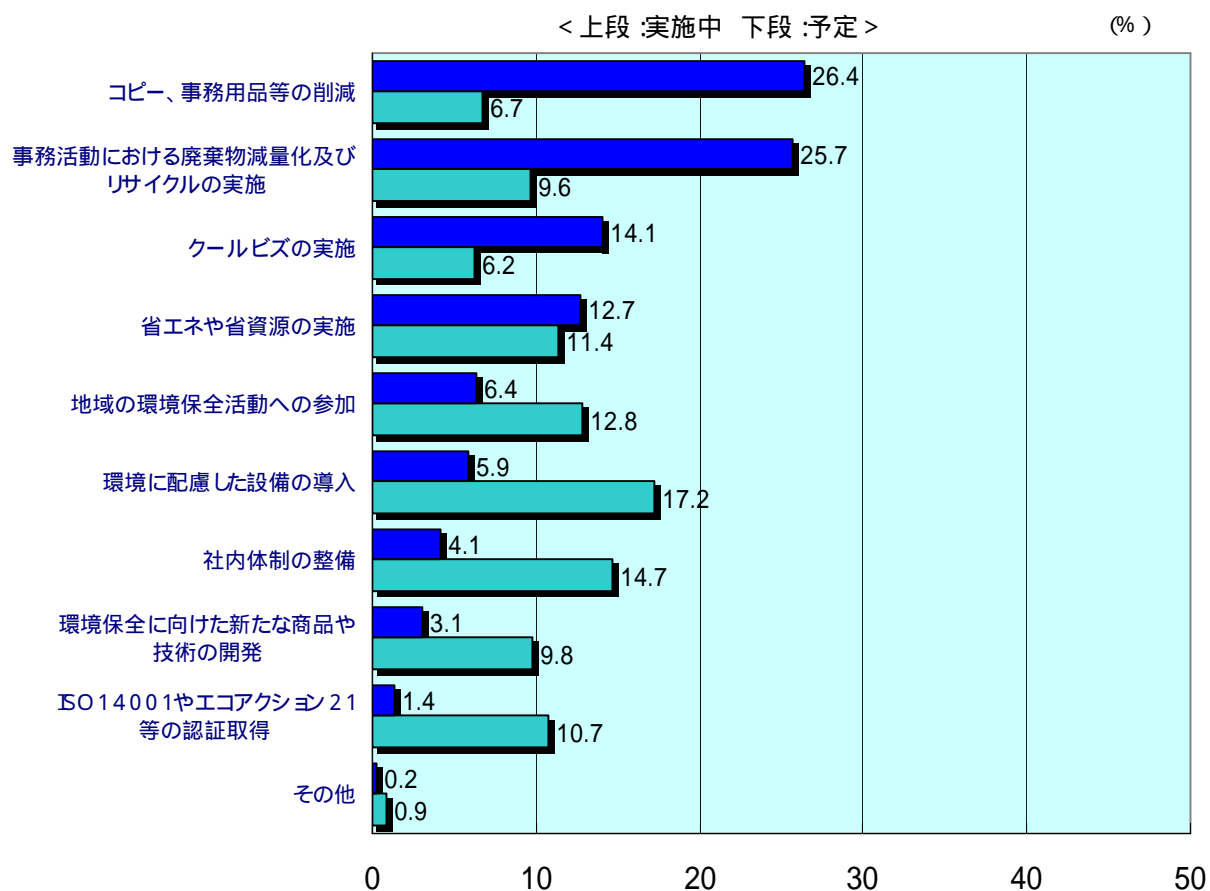
4. 環境問題に対する企業の取組みについてはどのようなお考えですか



【回答数：516】

5. 貴社は環境問題に関して現在どのような取組みを実施していますか。もしくは今後どのような取組みを実施する予定ですか。

【複数回答総数 実施中：1,258 予定：563】



アンケート結果を見る限り、環境問題への関心は高く、何らかの形で取り組まなければならないと意識している企業が多いようです。では具体的な取組みはというと身近に出来る取組みはもちろんのこと、その他の回答として「業界特有のゴミ処理方法」等の回答があり、様々な取組みが行われているようです。又、実施中の下位項目に関しては今後取組み予定とする回答が多くあり取組みへの意欲がうかがわれます。

当金庫では、好満足度信金の実現に向けた取組みのひとつとして、環境経営に対する取組みを進めています。お客様には環境保全型定期預金「緑の力」の販売（20年9月末取扱終了）、企業としては、環境経営マネジメントシステムを構築するため、環境省が策定した環境認証制度「エコアクション21」の今年度中の認証登録取得を目指し、企業の社会的責任（CSR）を果たす様、取り組んでいます。

今後も地域社会の一員として、地域の皆様と共に環境に配慮した行動に取り組めます。

～お客様アンケート結果を踏まえての総括～

『中小企業における事業承継』は、地域経済の安定や雇用維持の観点からも重要なテーマの一つです。しかしながら自社にとって経営上の課題ではあると認識していても最重要課題とまでは位置付けずに先送りしてしまう企業が少なくないようです。又、アンケートの回答には少数ながら「廃業予定」と回答した企業も見られるなど事業承継がスムーズに行われないケースもあるようです。

そんな中、中小企業の事業承継の円滑化に向けた総合的な支援策の総仕上げとして「中小企業における経営の承継の円滑化に関する法律」が平成20年10月に施行され、事業承継における問題解決への効果が一層期待されます。

当金庫においてもこれまでに各種相談業務を通じ、事業承継に関する各種支援を行ってきました。又、今年度の事業として、『若手経営者塾』の創設や外部講師を招いて『事業承継セミナー』の開催を予定する等新たな支援に取り組んでいるところです。

しずおか信用金庫では、今回頂いたお客様の声を活かし、今後も事業承継の円滑化に向けた積極的な支援を行って参りますので支店担当者を通じて積極的にご相談ください。

しずおか信用金庫店舗案内

当アンケートに関するお問合せ先
業務部ビジネスサポートセンター
TEL 054 - 247 - 6221
担当：荒石